

天然ゴムの輸入量と単価

近年の世界ゴム総生産量 (IRSG 統計<sup>1)</sup>) を表 1 に示しました。2005 年の日本の天然ゴム輸入量は、約 86 万トンです。すなわち天然ゴム世界総生産量の約 10 % 弱になります。

表 1 世界のゴム生産量(千トン)

年	天然ゴム	合成ゴム
2004	8,654	11,989
2005	8,777	12,057

1885 年から 1929 年の輸入量と単価を図 1 に示しました<sup>2)</sup>。1882 年の輸入量は、わずか 100kg 程度でしたが、1906 年の旧定率関税法<sup>\*1</sup>改正によってゴムの関税が無税となり、ゴム工業の育成に有利な刺激を与えることになりました。それによって、1906 年ごろから輸入量が増加していることがわかります。

ところで、1910 年ごろの天然ゴム価格は、現在と比較してどのくらい高かったのでしょうか。計算してみます。1910 年の天然ゴムの価格は約 4.2 円/kg でした。1910 年ごろの物価は、日本銀行の企業物価指数<sup>3)</sup>によって推定することができますので、

$$664.9 \text{ (2005 年の企業物価指数}^{*2}) \div 0.588 \text{ (1910 年の企業物価指数}^{*2}) = 1130.8$$

となり、物価は、約 1131 倍になったこととなります。従って、1910 年の天然ゴム価格は、現在に換算すると

$$4.2 \text{ 円/kg (1910 年の単価)} \times 1130.8 \approx 4,749 \text{ 円/kg}$$

となり、現在の価格<sup>\*3</sup>約 258 円/kg と比較するとかなり高価であったことがわかります。

\*<sup>1</sup>旧定率関税法は、1910 年の全文改正により現在の定率関税法となっています。

\*<sup>2</sup>「企業物価指数」は企業同士で取引される「モノ」の価格を対象とした指数。今回は、企業物価戦前基準指数を用いました。

\*<sup>3</sup>東京工業品取扱所。2007 年 3 月 20 日の相場

参考文献

- 1) IRSG (国際ゴム研究会) ; <http://www.rubberstudy.com/default.aspx>
- 2) 日本ゴム工業史 第一巻; 日本ゴム工業会編, 東洋経済新報社 (1969)
- 3) 日本銀行, 教えてにちぎん; <http://www.boj.or.jp/oshiete/history/q111.htm>

(大内新興化学工業(株) 有我 望)

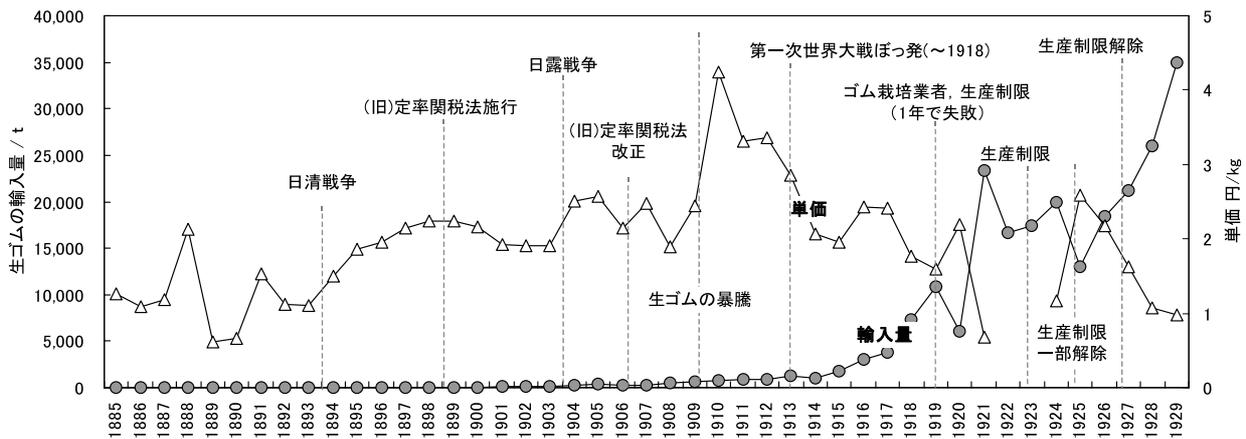


図 1 戦前の天然ゴム輸入量と単価  
1922, 1923 年の単価データは、ありません。

\* \* \* \* \*